

# 適合施設 チェックリスト

## ネイルスクールおよびネイルに関する授業・講習等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

受講生とスタッフの健康を守り、安心して授業・講習を受講していただくため、以下の22項目の感染症対策を実践しましょう。  
JNA認定校は、本チェックリストに基づき感染症対策を実践することで、JNAのホームページより「実施宣言ステッカー」を取得することができます。実施宣言ステッカーを掲示して、感染防止対策に取り組んでいることを宣言しましょう。

2021.11.18更新

実践項目	具体的な内容
<b>教室・講習会場の設備・環境 全般に関わる事項</b>	
1 教室・講習会場入口の衛生的配慮	<input type="checkbox"/> 手指に用いる消毒剤または除菌剤等を設置し、入口で手指消毒を行ってから入室するよう促している。 <input type="checkbox"/> ドアノブ等(高頻度接触部位)は、ドアの開閉時の都度、または定期的に消毒または除菌を行っている
2 対面遮蔽の工夫(実習時) 間隔をあけた席の配置(座学時・実習時)	<input type="checkbox"/> 実習時は対面遮蔽用のスニーズガードを設置している。スニーズガードの設置ができない密接場面では、受講生・モデル共に、フェイスシールドとマスクの両方を着用している。大声で話さないよう努めている。 <input type="checkbox"/> 受講生同士が密接しないよう席の間隔を適切に(最低1m、できれば2m)あけている。席の間隔が1m未満の場合は、側面遮蔽用のスニーズガードも設置している。 <input type="checkbox"/> 実習終了後は、スニーズガードの消毒または除菌を行っている。
3 モデルハンド(人工ハンド)を活用したトレーニング(実習時) およびリモートを活用した座学授業	<input type="checkbox"/> 実習を行う際には、可能な限り“人の手”ではなく、“モデルハンド(人工ハンド)”を活用したプログラムを導入し、密接および密集を避けている。座学授業においてはリモートの活用を検討している。
4 効率の良い換気・湿度管理	<input type="checkbox"/> 外気に面した窓やドアを開けられる施設では、送風機等(扇風機は室外に向けて使用する等)を活用して効果的な換気を行っている。窓やドアが開けられない施設では、建物に設置されている給排気設備を常時稼働させるとともに、定員を2/3～1/2程度に減らす対策を講じている。乾燥する場面では湿度40%以上を目安に湿度管理を行っている。「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法として窓開け換気が難しい場合には、空気清浄機(HEPAフィルターによるろ過式かつ風量が毎分5m <sup>3</sup> 程度以上のものなど)を使用すること。
5 高頻度接触部位の消毒または除菌	<input type="checkbox"/> テーブル(教室、共用部分、スタッフルームを含む)、椅子(背もたれ、ひじ掛け、座面)、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネル、レジ、蛇口、エレベーターのボタン、カラーサンプル、デザインサンプル等の消毒または除菌を行っている。
6 受講生の休憩スペース	<input type="checkbox"/> 休憩時間も密集を避け(最低1m、できれば2mあける)、飲食の際は横並びに座り、会話も控え、効率の良い換気を行っている。 <input type="checkbox"/> テーブル、椅子、その他 高頻度接触部位を定期的に消毒または除菌を行っている。
7 会計の際の留意点	<input type="checkbox"/> 可能な限り、電子決済を推奨し、カードリーダー、タブレット、キャッシュトレイ、ペン等の消毒または除菌をしている。 <input type="checkbox"/> 会計後の手洗いまたは手指消毒を徹底している。
8 トイレ、手洗い設備等の衛生的配慮	<input type="checkbox"/> 清掃、消毒または除菌を通常以上に徹底している。 <input type="checkbox"/> トイレはフタを閉めて流す徹底を図るための掲示を行っている。 <input type="checkbox"/> 液体石けん、ペーパータオルを備えている。共用タオルを使用していない。ハンドドライヤーの使用を停止している。
9 廃棄物の処理	<input type="checkbox"/> ふた付きのゴミ箱を備え、ゴミはビニールに入れ適切な方法で廃棄している。 <input type="checkbox"/> 廃棄物の処理の際は、グローブとマスクを着用している。事後に手洗い、手指消毒をしている。
<b>講師・スタッフの健康管理等に関わる事項</b>	
10 講師・スタッフの健康管理	<input type="checkbox"/> 体調チェックに気を配り、健康管理(体温等)を記録している。毎日の行動記録(いつ、どこで、誰と会ったか)を残している。 <input type="checkbox"/> 出勤を控える要件を理解している。体調が悪い場合には出勤せず、自宅療養する社内ルールを徹底すること。 <input type="checkbox"/> 出勤後に少しでも体調が悪いスタッフが見受けられた場合や発熱など軽度の体調不良を訴えた場合は、簡易検査キットを活用して検査を実施するか、速やかに最寄りの医療機関を受診させ医師の判断を仰ぎ、回復するまで治療に専念している。
11 マスクの常時着用 フェイスシールドの活用	<input type="checkbox"/> 講師・スタッフは飛沫感染防止のため、マスクを常時着用している。 <input type="checkbox"/> スニーズガードの設置ができない密接場面では、フェイスシールドとマスクの両方を着用している。フェイスシールドの着用後は消毒または除菌を行っている。
12 スタッフルーム等	<input type="checkbox"/> 食事、休憩時、着替えの際に密集を避け(最低1m、できれば2m)、飲食の際は横並びに座り、会話も控え、効率の良い換気を行っている。テーブル、椅子、その他 高頻度接触部位を消毒または除菌している。 <input type="checkbox"/> 飲食時、歯みがき、お化粧直し等のマスクを外す場面で会話を控えている。歯みがきエチケット(感染予防)を励行している。
<b>受講予約・受付に関わる事項</b>	
13 予約制の徹底	<input type="checkbox"/> 受講予約と受講定員を設定し、最少人数の講師・スタッフで対応できるように運営し、講習時間が延長しないよう努めている。
14 受講生の体調チェック(予約時)	<input type="checkbox"/> 受講予約にあたり、受講をお断りする要件を明記し、該当しない事を確認してから、受講の予約を受け付けている。
<b>受講生に関わる事項</b>	
15 受講生の体調チェック(受講当日)	<input type="checkbox"/> 体調が万全でない場合は、予約日を変更していただくようお願いしている。 <input type="checkbox"/> 検温を行い、当日の体調が良好であるかを伺って、マスクの着用確認を行ってから授業または講習をスタートしている。 <small>※商業施設内に施設がある場合は、商業施設の入り口等で既に検温を実施している場合、再度の検温は行わなくてもよい。</small>
16 マスク着用の確認	<input type="checkbox"/> 飛沫感染防止のため、マスクを正しく常時着用できているか確認している。
<b>実習に関わる事項</b>	
17 実習を行う際の着衣等(受講生)	<input type="checkbox"/> マスク、フェイスシールド(必要に応じて)、アイガード、グローブ(必要に応じて)、清潔な実習着やエプロンを着用している。 <input type="checkbox"/> スニーズガードの設置ができない密接場面では、フェイスシールドとマスクの両方を着用している。
18 丁寧な手指消毒	<input type="checkbox"/> こまめな手洗いを励行すると共に、施術のはじめに消毒剤を用いて擦式清拭消毒を丁寧に行っている。
19 実技授業・講習に関わる器具、用具、備品類の衛生管理	<input type="checkbox"/> 消毒済みの器具、用具、備品類を備え、実習終了後は、通常以上(場合により標準レベル以上)の消毒または除菌を行っている。 <input type="checkbox"/> コットン、ガーゼ、ペーパー類等は使い捨てとし、施術モデルが直接触れる備品類には可能な限りペーパー等で覆う工夫をしている。ペーパー等で覆うことの出来ない高頻度に接触する備品類等は、実習終了後に消毒または除菌を行っている。
20 各種用具の持ち手・化粧品等の外装部分の適切な消毒	<input type="checkbox"/> 各種筆類(ジェル用、アクリル用、アート用等)の持ち手部分、ネイルポリッシュ等の各種化粧品、ネイル材料のキャップや本体部分も、使用後は消毒または除菌を行っている。
<b>その他</b>	
21 緊急時の対応	<input type="checkbox"/> 有事の際の連絡先(管轄の保健所または所轄担当役所の電話番号)と対応フローを明確にし、共有できている。商業施設内に施設がある場合は、その管理部門と連携して適切な対応をとっている。ミーティングにリモートを活用している。
22 ガイドラインの遵守 COCOAやQRコードを用いた追跡システムの利用促進	<input type="checkbox"/> 「ネイルスクールおよびネイルに関する授業・講習等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を参照しながら取り組みを実践している。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCA) やQRコードを用いた追跡システムの利用を促進している。